

新津中央地区未来ビジョン座談会 成果概用

新津中央地区コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会





新津中央地区 開催日程



9月23日 第1回 地域の未来を予想しよう

10月14日 第2回 現状把握とアイデア出し

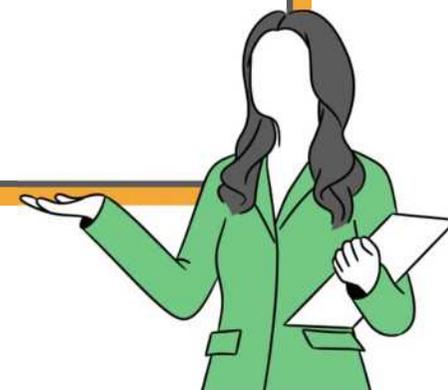
11月18日 第3回 アクションプランをつくる



第1回 《地域の未来を予測しよう》

- ①新津の魅力を磨き、共有・発信する
- ②地域ぐるみで一貫した子育てを
- ③住民が集まり、交流する場づくり
- ④健康で生涯現役のまちづくり
- ⑤若者の移住先として選ばれるまちづくり

成果：200の意見が出され、5つのテーマにまとめた



《第2回 現状把握とアイデアだし》

鉄道の町としての
魅力

商店街もシャッター
が目立つ

電車で区外に
出る人が多い 新津商店街

交流センターの活用
が足りない

地域交流センター

成果：資源、課題、アイデアなど合わせて259の意見が出された

《第3回 アクションプランをつくる》

- ① 鉄道魅力発信局(仮)
- ② 秋葉Space House
- ③ にいつ未来プロジェクト
- ④ 交流ひろば(仮)
- ⑤ ツアーだと思ったら定住していた。

《第3回 アクションプランをつくる》

01

新津魅力発信局(仮)



→鉄道をはじめ、新津の魅力を発信するための設備を整える。

《第3回 アクションプランをつくる》

02

秋葉Space House



→商店街の空き店舗を活用し、世代間交流の場を設ける。

《第3回 アクションプランをつくる》

03

にいつ未来プロジェクト



→未来ビジョン実現のための機関を設置し、世代を超えて夢を語り合える場にする。

《第3回 アクションプランをつくる》

04

交流ひろば(仮)



→交流センターを有効活用出来るようにデザインし、
無料で集える情報基地に。

《第3回 アクションプランをつくる》

05

ツアーだと思ったら
定住していた。



→コンシェルジュが案内するツアーでリアルな秋葉区を
体験してもらおう。





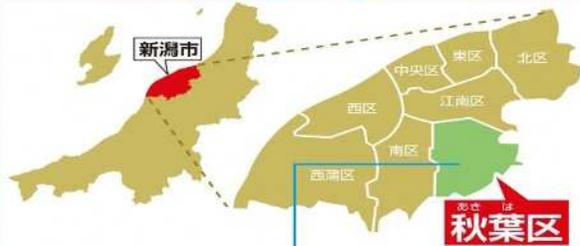
新津西部地区未来ビジョン座談会 成果概用

新津西部コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会



〈秋葉区の位置〉



〈秋葉区の11コミュニティ〉



新潟西部は、秋葉区の中心部に位置し新津駅、さつき野駅の西側地域です。

■ 新潟西部地域の人口と世帯数の推移



新潟市も人口が減る地域が多いなか、新潟西部地域では新しい宅地開発や大型ショッピングエリアの造成出店も進み、区役所・警察署・消防署・学校・病院・コンビニなども近く、人口・世帯数ともに増加しており、これからも発展する地域として注目されています。

新津西部地区(位置)



新津西部地区 開催日程

- 9月30日 第1回 地域の未来を予想しよう！
10月21日 第2回 地域の現状を把握し資源を探そう！
11月25日 第3回 アクションプランをつくろう！



第1回 《地域の未来を予測しよう！》

- ①生活（交通）に便利なまちを作る
- ②豊かな自然環境を創る
- ③運動できる場遊べる場を考える
- ④子ども元気になる場を作る
- ⑤人が集まる交流の場を作る

成果：106の意見が出され、5つのテーマにまとめた

《第2回 現状把握とアイデア出し！》

交流の場
を設ける

子どもたちの遊び
場をつくる

人口は多いが
交流は少ない

公園が少ない

イベントや企画が
少ない

PRも含めてイベントを
開催

成果：現状とアイデア、合わせて124の意見が出された

《第3回 アクションプランをつくろう！》

- ①三小のイベントを増やそう！
- ②道具の貸し出し
- ③ボールが出ないように高いフェンスを設ける
- ④便利な循環バス
- ⑤西口ライナーフェス
- ⑥自然と遊べる公園～街中で誰もが集える憩いの場～

《第3回 アクションプランをつくろう！》

01

三小のイベントを増やそう！

→第三小学校でのイベントを増やし、
子どもだけでなく大人も楽しめるイベントを開催する。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

02

道具の貸し出し

→公園で遊ぶ子どもたちのため、
遊具などの貸し出しを行う。

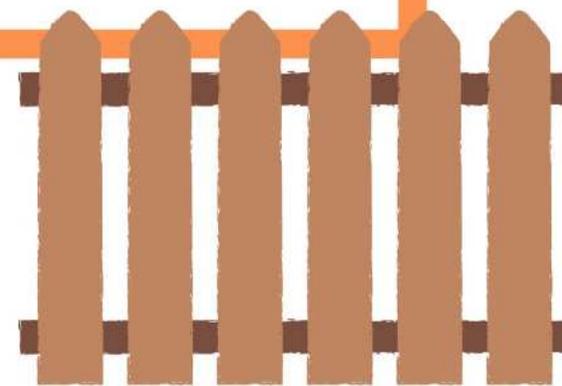


《第3回 アクションプランをつくろう！》

03

ボールが出ないように
高いフェンスを設ける

→公園でも安心してボール遊びができるよう、
高いフェンスを設ける。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

04

便利な循環バス



→西部地区の各所を回る循環バスを導入し、
利便性と安全性の向上を目指す。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

05

西口ライナーフェス

→新津駅西口から歩けるマップを作成し、
そのマップを基に各所でイベントを開催。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

06

自然と遊べる公園 ～街中で誰もが集える憩いの場～

→西部地区に自然と融合した公園を開設し、
地域の交流や憩いの場にする。



新津西部地区の特色と課題

◆ 西部地区の特色

- 秋葉区の中央(新津駅西側)に位置している
- 新しく宅地造成された地域が多く、比較的若い世代が多い
- 国や県の機関をはじめ、小中学校、秋葉区役所、秋葉区総合体育館、秋葉区文化会館など行政機関が集中している
- スーパーや飲食店など商業施設が多い
- 秋葉区が特色として謳う“鉄道のまち”その顔である新津駅、C57(SL)が配置されている新潟車両センター新津派出や新津運輸区、鉄道車両を製造している総合車両製作所新津事業所がある
- 新津勝資(諸説あり)が築城したとされる新津城跡(現新津自動車学校周辺)や越後七不思議の一つである八珍柿の原木(秋葉区古田)がある

◆ 西部地区の課題

- 誰もが運動したり自由に使える公園や交流の場が少ない(ハード)
- 西部地区内外から人を呼んだり交流するためのイベントや企画が少ない(ソフト)
- 西部地区内における交通体系や西部地区と西部地区外とを結ぶ交通網が脆弱

課題を乗り越え、特色を活かした新津西部地区の未来ビジョン



01	新津第三小学校の活用	第三小学校のイベントを増やし大人も楽しめるイベントを開催する
02	遊び道具の貸し出し	公園で遊ぶ子供たちのために、遊具を貸し出す
03	公園に高いフェンスを設置	公園で安心してボール遊びができるよう、高いフェンスを設置する
04	便利な循環バスの運行	西部地区にある商業施設や役所等への往來の利便性を高めるため、新しい形態の循環バスを運行させる
05	新津駅西口ライナーフェスの開催	多くの方との交流の場を増やすため、西部地区の様々な個所を巡るウォークマップを作成し、その主な個所でイベント(ライナーフェス)を開催する
06	自然と遊べる公園～街中で誰もが集える憩いの場～	自然と融合した公園を開設し地域の交流や憩いの場にする



ご清聴ありがとうございました
新津西部コミュニティ協議会



荻川地区未来ビジョン座談会 成果概用

荻川地区コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会



荻川地区 開催日程

10月15日 第1回 荻川地区の未来の姿を描こう

11月19日 第2回 未来の種とアイデアを出し合おう

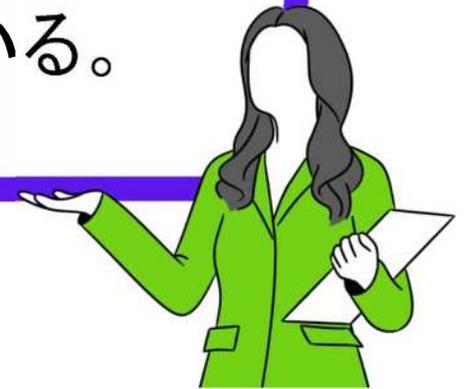
12月10日 第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！



第1回 《荻川の未来の姿を描こう》

- ①コミュニティの機能が強化されている。
- ②たくさんのおともたちがのびのび育っている。
- ③高齢者が楽しく暮らしている。
- ④若い世代が増え、活気が生まれている。
- ⑤お店が増えている。交通手段が良くなっている。

成果：206の意見が出され、5つのテーマにまとめた



《第2回 未来の種とアイデアを出し合おう》

住民が多く
賑やか

車で色んな所にア
クセスできる

子どもたちと地域
の関わりが少ない

車が無いと
生活できない

交通量が多く危険

店舗も多く便利

成果：第1回にまとめたデータごとに話し合い、良いね！困りごと、
アイデアなど、合わせて311の意見が出された

《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

- ①おぎっ子団結プロジェクト
- ②コミセンCafé
- ③荻川パーク
- ④ボランティア仕組み作りプロジェクト
- ⑤市之瀬幼稚園・運動公園レクリエーション活用プロジェクト
- ⑥おぎかわコミュニティカフェ

《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

01

おぎっ子団結プロジェクト



→若者が中心となってイベントやボランティアを企画・実行し、
地域を元気づける。

《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

02

コミセンCafe

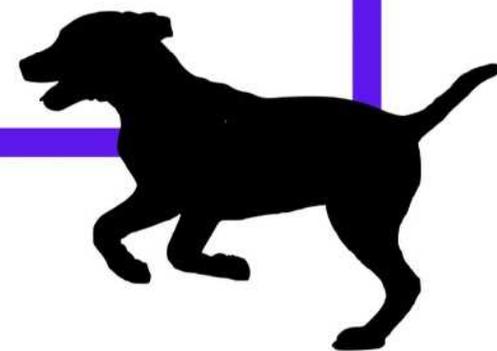


→コミュニティセンターのロビーを有効活用してカフェを
設け、地域住民の顔見知りを増やす。

《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

03

荻川パーク



→荻川駅東口エリアの空きスペースを活用し、
ドッグランやイベント会場などの機能を備えた広場をつくる。

《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

04

ボランティア 仕組み作りプロジェクト

→ボランティアなど地域活動の参加者を増やし、
新たな人材(人財)を発掘する。



《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

05

市之瀬幼稚園・運動公園 レクリエーション活用プロジェクト

→市之瀬幼稚園と運動公園を活用し、
ファミリーキャンプ場やBBQコーナーにする。

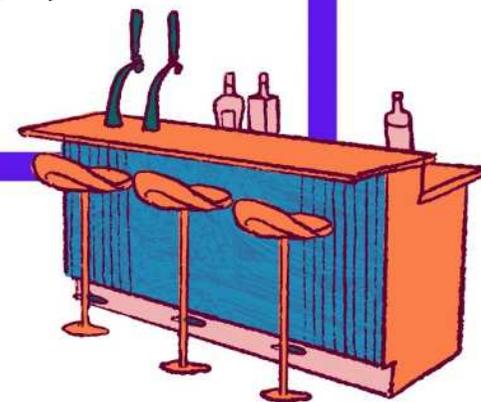


《第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！》

06

おぎかわコミュニティカフェ

→コミュニティセンターで週3回カフェを実施し、
地域住民が集って交流できるようにする。







まんにち

満日コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会
未来ビジョン座談会





満日地区 開催日程



2023年

10月7日 第1回 地域の未来を予測しよう

11月5日 第2回 現状把握とアイデア出し

12月2日 第3回 アクションプランづくり



第1回 《地域の未来を予測しよう！》

- ①生活に便利なまちを作る
- ②人が集まる交流の場を作る
- ③地域資源を活用したイベントを行う
- ④若者(子ども)住みやすい街を作る
- ⑤豊かな自然(農)を活用する

成果:160の意見が出され、5つのテーマにまとめた





《第2回 現状把握とアイデア出し》



旧満日小学校
の活用

利用可能な
土地の把握

稲架木並木付近に
駐車場が無い
遊歩道の設置

子供の為の
施設がない

満日の魅力が
他所に伝わっていない

SNSを通じた
魅力発信

成果：現状とアイデア、合わせて206の意見が出された

《第3回 アクションプランづくり》

01

SNSフォロワー
1億人プロジェクト



→SNSの公式アカウントを開設し、満日の魅力を広く発信する。

《第3回 アクションプランづくり》

02

便利な楽しい町プロジェクト



→旧満日小学校を活用したバザーなどのイベントの実施。

《第3回 アクションプランづくり》

03

地元商店39プラン



→帆苅商店など地元の商店と連携し、お惣菜の販売や高齢者向けの移動販売などを行う。

《第3回 アクションプランづくり》

04

癒しの森ライブハウス



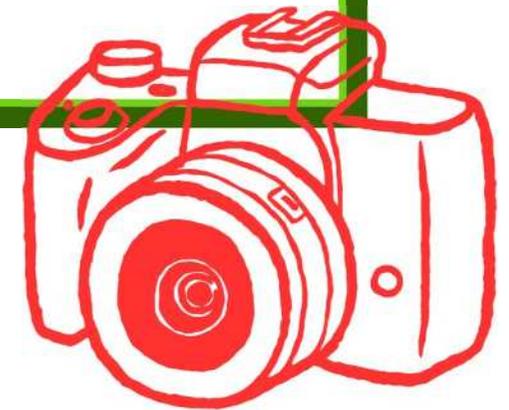
→癒しの福祉ゾーンを活用してライブを行う。

《第3回 アクションプランづくり》

05

はさぎ並木で写真コンテスト

→稲架掛け時期に写真コンテストを行い、歩行者天国にしてキッチンカーを呼ぶ。



《第3回 アクションプランづくり》

06

『満日黄金ロード』 ワクワクプラン



→満日で収穫した米「まんいち米」をブランド化し、
稲架木並木と並んで魅力をPRしていく。

《第3回 アクシヨンプランづくり》

07

水門・閘門・公園の活用



- 満願寺公園を活用してキャンプや花見ができるようにする。
- 水門・閘門を活用してカヌーやボートなどの体験をできるようにする。

満日の子どもたちも一生懸命考えました!!





新津東部

コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会
未来ビジョン座談会



●未来ビジョン座談会 参加者の皆さん

参加者の皆さんに感謝申し上げます。
ありがとうございました。





新津東部地区 開催日程



10月15日第1回 地域の未来を妄想しよう！

11月12日第2回 資源・課題の現状把握とアイデア出し！

12月10日第3回 アクションプランをつくる





《第1回「地域の未来を大予想」》



- ①困った時に助けてもらえる、安全で楽しく暮らせるまち
- ②交通手段や公共施設の使い方について
- ③子ども達(若い世代)が楽しく暮らせる仕組みづくり
- ④新津川や自然環境を活用したイベントやまちづくり
- ⑤地域の特産(資源)を磨き上げる

成果: 134の意見が出され、5つのテーマにまとめた





《第2回「資源・課題の現状把握とアイデア出し！」》

● イベントの参加者が少ない

● 遠くに行かなくていいと買い物ができない

● 分流公園がある

● 新津川の整備が足りない

● 地域と関われるイベントが多い

● 程よく自然に溢れている

● 成果

● 第1回にまとめたデータごとに話し合い、資源、課題、アイデアなど165の意見が出された



《第3回「アクションプランをつくる」》

01

「にいつ巡りMAP」

→新津の魅力をリストアップし、
「新津に行ってみよう！」と思える冊子を作成する。



《第3回「アクションプランをつくる」》

02

虹の遊歩道 ラメ事業

→新津川の遊歩道で除草などの整備を行い、
1年を通じて誰もが楽しく歩ける遊歩道を目指す。



《第3回「アクションプランをつくる」》

03

T・T・T(地域探検ツアー)

→地域の小中学校で地域探検を行い、
授業の中で自分たちの住んでいる
地域の良さを知る。



《第3回「アクションプランをつくる」》

04

ふれあいロード新津川

→現在行っているそれぞれの除草作業
などを一斉に行い、より効率よく
新津川の環境を整える。



《第3回「アクションプランをつくる」》

05

East Park

→図書館の脇を活用し、フリーマーケットや演奏会、ウォーキングイベントなどを定期的に行う。



●今回、見えて来た新事業案

01 にいつ巡りMAP

- ・にいつの魅力をリストアップし、他地域の方々に紹介する。
- ・自家用車でも、公共交通機関(JR、バス、区バス、レンタサイクル)でも行けるコース

JR:新津駅、東新津駅、さつき野駅、新関駅、矢代田駅、古津駅

03 T・T・T (地域探検ツアー)

- ・子どもたちが、自分で考え、自分で探し、地域の良さを自分で体験。
- ・子どもたちから見た、地域の良さを知る。
- ・地域の伝統・魅力を次代につなげる。

05 East Park

- ・図書館脇の親水公園を活用し、フリーマーケットや演奏会、ウォーキングイベントを定期的で開催する。
- ・旧ベルシティの協力をお願いしながら、キッチンカーなどの食イベントも検討する。
- ・子どもたちが参加してみたいと思えるイベント内容を検討する。

・東部コミでは、今回の新事業案の実現に向けての検討を行いたいと考えております。

02 虹の遊歩道 ラメ事業

- ・新津川の遊歩道を活用する。
- ・1年を通じて、誰もが楽しく歩ける遊歩道にする。

ラメ事業:今あるものを磨き、輝かせる。

04 ふれあいロード 新津川

- ・現在行っている自治・町内会等の除草作業などを一斉に連携して行う。
- ・維持・管理作業も、地域のふれあい・きずなを深める場として楽しむ。

・ご清聴ありがとうございました。

阿賀浦地区未来ビジョン座談会 成果概要

阿賀浦地区コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会



日時：2024年 2月 4日

場所：秋葉区文化会館



阿賀浦地区 開催日程

7月22日 第1回地域の未来を予想しよう！

9月 2日 第2回地域の現状を把握し資源を探そう！

9月30日 第3回アクションプランをつくろう！



第1回 《地域の未来を予測しよう！》

- ①人が集まる交流の場を作る
- ②キレイな地域を作る
- ③生活に便利な街を作る
- ④若者(子ども)住みやすい街を作る
- ⑤地域資源を活かし新たな活動を作る

成果：132の意見が出され、5つのテーマにまとめた



《第2回 地域の現状を把握し資源を探そう！》

地域学園を

もっと活用したい

坂口安吾など

イベントが減った

魅力の情報発信が乏しい

街の景観を良くしたい

農作放棄地がある

阿賀小学校と連携した
イベントの開催

成果：現状と希望、合わせて153の意見が出された

《第3回 アクションプランをつくろう！》

- ①スポーツイベント：阿賀浦鉄道杯
- ②国道460号に道の駅を
- ③花いっぱい運動の推進
- ④地域学園中心プロジェクト
- ⑤新金沢保育園の活用プロジェクト
- ⑥阿賀桜
- ⑦コミ協まつり(阿賀小学校との連携)
- ⑧鉄道資料館のSLを復活させる
- ⑨安吾館(文豪の資料館)をつくる

《第3回 アクションプランをつくろう！》

01

スポーツイベント 阿賀浦鉄道杯



- 体育館を活用し、様々なスポーツの大会を開催する。
- 定期的な開催により地域を盛り上げ、発展させる。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

02

国道460号に道の駅を



- 人の集まれる場所をつくり、買い物もできる交流の場にする。
- 展示スペースをつくって魅力の情報発信も行う。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

03

花いっぱい運動の推進



- 鉄道資料館を中心とした「花いっぱい運動」の推進。
- 季節のイベントを通じた新たな魅力の獲得。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

04

地域学園中心のプロジェクト



- 地域学園から地域を盛り上げるための計画を作成。
- 芸能祭と敬老会を融合し、阿賀浦フェスを開催する。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

05

新金沢保育園の活用プロジェクト



- 児童や保護者、自治会などと協力し、施設の改修を行う。
- 数年後に新金児童クラブOPENを目標。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

06

阿賀桜



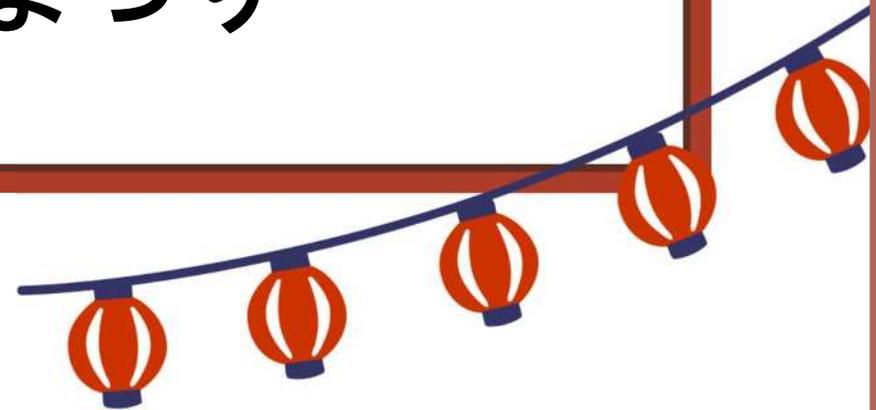
- 阿賀小学校のグラウンドでお花見イベントの開催。
- イベントの開催に伴い、グラウンドを整備。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

07

コミ協まつり

- 阿賀浦コミ協主体で新たに祭を開催。
- 阿賀小学校と連携**し、飲食メニューの考案など小学生の活躍の機会に。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

08

鉄道資料館の SLを復活させる



- SLを復活させるため、大規模な計画を進める。
- 鉄道資料館場内に線路を設置するための資金調達を目指す。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

09

安吾館をつくる



- 坂口安吾の魅力を伝える**文豪の資料館**をつくる。
- ブランドを具体化し、情報発信する。

12月3日、12月23日、1月13日の3回の検討会で次に示す3つのテーマに絞り込みを行いました。

- (1) コミ協まつり(阿賀小学校との連携)**
- (2) 新金沢保育園の活用プロジェクト**
- (3) 安吾館(文豪の資料館)をつくる**

これらのテーマについてのアクションプランを次に説明します。

アクションプラン(1)

コミ協まつり(阿賀小学校との連携)

目的

地域コミュニティの結束を高める。地域の文化や伝統を紹介し地域住民の誇りを育む。子供から大人まで楽しめる交流事業で地域の活性化

内容

文化祭、青空フェスティバル等既存事業との連携、物販(特産品)展示(安吾紹介)、芸能発表(コミ協芸能祭)、作品発表(域内愛好者)

対象

地域住民全般、阿賀小学校、子どもから高齢者まで、域外からの参加者見学者、地域の団体や企業

担い手

コミ協、阿賀小学校、自治体、スポーツ振興会、教育機関、PTA、商工会や観光協会、保護者有志、ボランティア

概要

例)既存事業(文化祭) 従前の学校文化祭の中に「体育館」をメイン会場に芸能発表(地域の活動団体・個人)に加え、第五中ブラスバンド、小学生の合唱等、子供達要望の物販(出店・キッチンカー・農産物等)

アクションプラン(2)

新金沢保育園の活用プロジェクト

目的

長く域内にあった施設の有効活用や改善。幼児から高齢者までの交流施設。地域住民の安全と健やかな成長をサポートする。

内容

保育園の建物や設備のリニューアル、教育プログラムの作成と展開、発信機能、交流機能、安全対策の強化と環境改善、ボランティア推進

対象

地域の子どもとその家族、地域住民全般

担い手

コミ協、自治会、教育委員会、キッズクラブ運営者、NPO法人、退職教員
地域の企業や団体、ボランティア

概要

プロジェクトの立ち上げと計画策定、資金調達と施設の改修計画、教育プログラムの作成と改善、人材活用プログラム、キッズクラブ(学童保育)、学習指導、幼児教育(遊び場)、高齢者学級、ボランティア活動

アクションプラン(3)

安吾館(文豪の資料館)をつくる(誘致)

目的

文豪「坂口安吾」の生涯や作品を紹介し、地域の文化・歴史を活性化する。地域住民の学びの場とし、観光資源としての地域の魅力を高める。

内容

文豪「坂口安吾」の生涯や作品展示。文学資料や原稿の収蔵、イベントや講演会の開催、学習スペースや資料館を設置。(安吾館の誘致)

対象

地域住民、安吾愛好家、学生や教育機関、観光客

担い手

コミ協、自治会、安吾の会(新潟、松之山、桐生)、歴史・文化に造詣の深い個人や団体、観光協会、文学関連施設(図書館)

概要

資金の調達と場所の確保、展示や収蔵物の準備、イベントや講演会の企画や実施、スタッフやボランティアの募集と育成、広報活動と地域への啓発、旧阿賀小学校敷地に安吾館誘致建設、既存建屋の有効活用

9月30日第3回発表会の様子



新関地域未来ビジョン座談会 成果概要

新関コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会

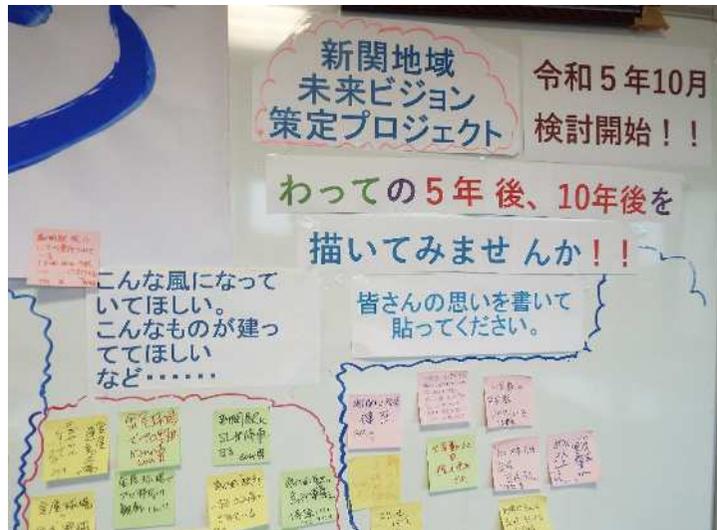


新関地区 開催日程

10月22日 第1回 新関地区の未来の姿を描こう

11月11日 第2回 未来の種とアイデアを出し合おう

12月 9日 第3回 未来に向けたアクションプランをつくろう！



第1回 《新関の未来の姿を描こう》

多世代が繋がりが合い、笑顔で賑わう住み続けたい新関

- ① 住民同士が集い交流しながら生き生きと生活している。
- ② 買い物や交通の利便性が高まっている。
- ③ きれいで安心・安全な地域であり続ける
- ④ 人口が増えるとともに小学校が存続している。

成果：119の意見が出され、4つのテーマにまとめた

《第2回 未来の種とアイデアを出し合おう》

子どもが少なくなっ
てきている

バスや電車が少
なくなった

人の集まる場が少
ない
(子供～高齢者)

新関の魅力をも
っと活用したい

新関に来てもらう
魅力づくりと地域内
外への情報発信

SL の人気撮影
スポットがある

小学校と地域の
結束が強い

新関駅・金屋グランド
豊かな自然(里山・大
河)がある

児童クラブが充実
している

成果:第1回にまとめたデータごとに話し合い、良いね！ 困
りごと、アイデアなど、合わせて134

の意見が出された。

〈第3回 未来に向けたアクションプランをつくらう！〉

- ① ツール・ド・新関
- ② しんせきワクワクフェスティバル
- ③ 家族揃って赤ちょうちん
- ④ 新関で踊ってみた！
- ⑤ 新関行こうよ！プロジェクト

課題詳細

《アクションプラン ①》

ツール・ド・新関

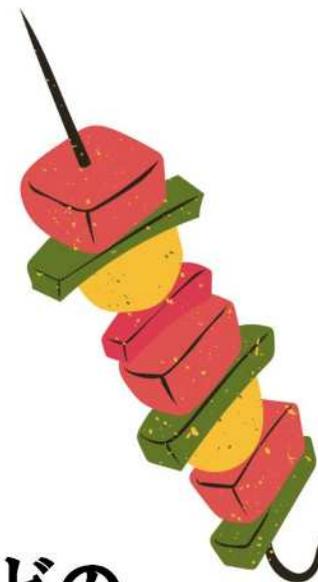


→ 健康増進と地域活性化を目指す。

自転車であわろう新関地域を！ 道案内は「**しんせき夢マップ**」No 5

《アクションプラン ②》

しんせき ワクワクフェスティバル



→ 金屋運動場を使い、スポーツ体験会やBBQなどのイベントを開催し、子供からお年寄りまで、地域交流の場を創る。

《アクションプラン ③》

家族揃って 新関”赤ちょうちん”へ!



→ 地域の食材を使った郷土料理を提供する店を作り、
地域外を含めて笑顔溢れる憩いの場にする。

なじみの場所「駅舎等周辺の既存施設」 地域バスを足に・・・

《アクションプラン ④》

新聞で踊ってみた!!

新聞を もっと もっと 発信!

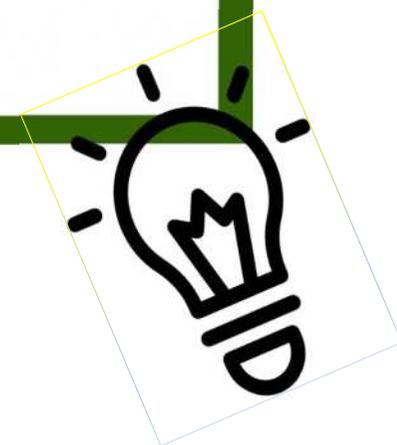


→ SNSで人気のコンテンツを配信(地域の人が踊りながら、新聞のお宝を紹介)し、知名度の獲得とさらなる地域の情報発信を目指す。

《アクションプラン ⑤》

「新関へ行こうよ」プロジェクト！

- 新関内外を巻き込み新関に来訪してもらえる企画・イベントを行い新関地域をさらに盛り上げる。（**名所**・**お宝** 紹介・**特産品販売**）



成果と今後の課題

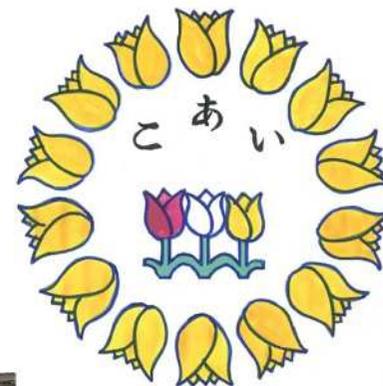


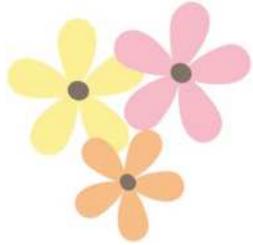
ご清聴ありがとうございました

- ① 世代間交流と「**新聞の再発見**(人に優しい、自然豊か、地域の宝物)」と強い「**新聞愛**」の共有化
- ② 地域交流拠点(コミセン、小学校、保育園)**存在意義**の再認識
- ③ コミ協体制の整備・拡充(実行委員会、**コミ協事業支援メンバーの育成**と予算措置)
- ④ 「しんせき」の情報発信に向けた取り組み
 - ・ 新聞の宝物のデータ化と地域内外への発信の取り組み。
 - ・ 資料館等 展示・保管できる場所の設置(**郷土資料館的なもの**)
- ⑤ 地域ネットワークの維持・拡大化と**次世代への引継ぎ**

小合地区未来ビジョン座談会

小合地域コミュニティ協議会
秋葉区自治協議会





小合地区 開催日程



- 10月1日 第1回 地域の未来を予測しよう！
- 10月22日 第2回 現状把握とアイデア出し
- 11月26日 第3回 アクションプランをつくる



座談会で作られたアクションプラン

- ① 小合“絆”プロジェクト
- ② 買わねかね 小合農産物
- ③ ぷらっと小合野菜市
- ④ こあいキッズステーション
- ⑤ こあいコンテナカフェ
- ⑥ 小合タク事業



アクションプラン

1

小合“絆”プロジェクト



SNSを活用した広報活動で、情報発信だけでなく
地域内での情報共有を可能にする。

2

買わねかね 小合農産物

農産物の生産・加工・販売や
後継者のいない土地の維持、
管理を行う。



3

ぶらっと小合野菜市



コミュニティセンターの敷地内で月2回野菜市を開催し地域の生産者が自由に販売できるように。

4

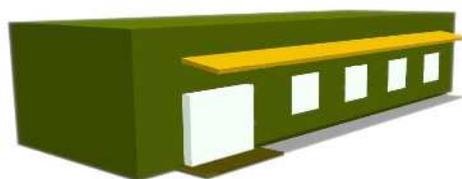
こあいキッズ ステーション

0～18歳までの子供たちが
集える場所をつくり 人々
の交流の場にする。



5

こあいコンテナカフェ



コミセンにコンテナカフェをつくり、
誰でも活用できるスペースを設ける。



6



小合タク事業

小合コミ協で運営するタクシー
事業 乗り合いも可能な
地域のタクシーへ



マンパワー

地元関係者・コミュニティ協議会

中期展望： 令和5年度・令和6年度

準備委員会・検討組織
の立上げ



1回目ワークショップの様子



小学生

小合は
豊かな地域
で良いところ
がたくさんある



中学生

大人は、思った
より子供のこと
を考えてくれた



2回目 ワークショップ

- 1班 小合らしい産業の花を咲かせる。
- 2版 生涯現役・手と手をつながる
- 3版 咲き誇れ 小合の子どもたち
- 4版 小合 怖くないよ 優しいよ
- 5班 地域みんなで助け合う小合



3回目 ワークショップ

5グループより「アクションプラン」6項目の事業を発表。

課題：小合小学校で令和8年度に
「複式学級」が始まります。

「小合地域の学校のあるべき形をつくる協議会」発足



＜小合地域の学校のあるべき形をつくる協議会＞



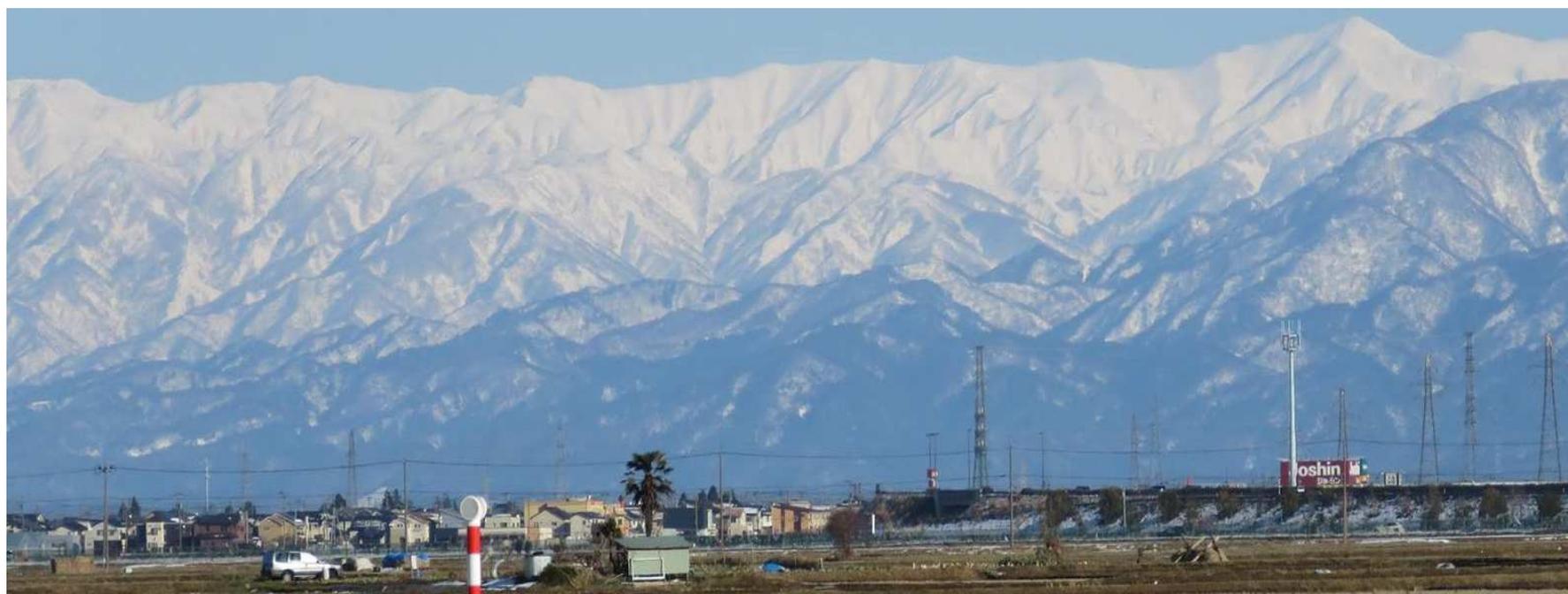
小合の未来✦✦

今回の未来ビジョンは、私たちの住む地域を知るよい経験となりました。

これからの未来は私たちの行動にゆだねられています！！！！



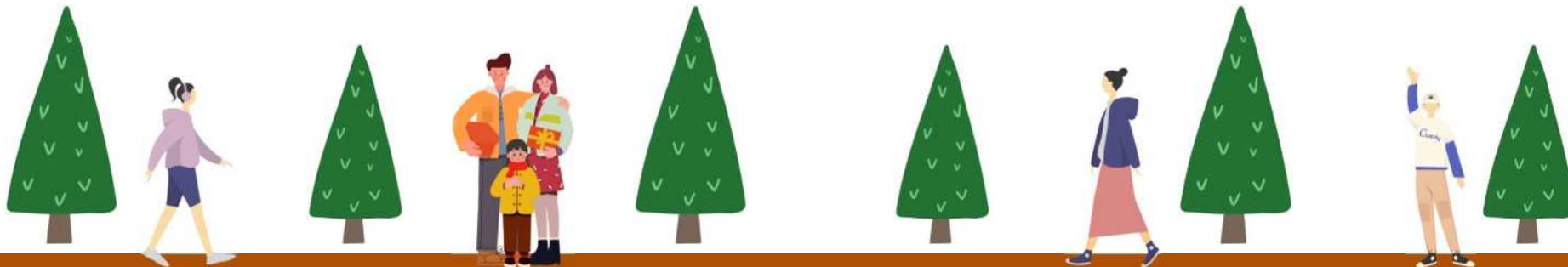
ご清聴ありがとうございました。



金津地区未来ビジョン座談会 成果概用

金津コミュニティ振興協議会

秋葉区自治協議会



金津地区 開催日程

8月27日 第1回 地域の未来を予想しよう！

10月22日 第2回 地域の現状を把握し資源を探そう！

11月19日 第3回 アクションプランをつくろう！



第1回 《地域の未来を予測しよう！》

- ①人が集まる交流の場を作る
- ②自慢できる地域にする
- ③生活に便利・快適なまちを作る
- ④子ども（若者）が住みやすいまちにする
- ⑤安心で安全なまちを作る

成果：163の意見が出され、5つのテーマにまとめた



《第2回 地域の現状を把握し資源を探そう！》

コミセンの
機能充実

雪かきボランティア
の募集

子どもが遊べる
ところが少ない

雪による
不安がある

文化的な部分を
もっと発信したい

SNSをさらに活用

成果：現状とアイデア、合わせて177の意見が出された

《第3回 アクションプランをつくろう！》

- ①若者の定住のために
- ②多目的な児童館
- ③既存施設の利用
- ④景色の良い場所の活用～夕陽の丘にカフェ！～
- ⑤インスタグラム&X開設
- ⑥Youtube動画
- ⑦金津地区タクシーアプリの構築
- ⑧金津地区家財リサイクルシステムの構築
- ⑨柿もぎツアー
- ⑩子ども消防士、子ども消防団

《第3回 アクションプランをつくろう！》

01

若者の定住のために



- 古民家を改修してカフェをつくるなど、若者の働き口をつくる。
- 畑を併設して農業体験もできるようにし、施設全体での黒字を目指す。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

02

多目的な児童館



- 児童館のような機能をもった施設をつくる。
- 子どもを中心とした交流の場に。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

03

既存施設の利用



- 公会堂など既存施設を利用する。
- 空き家のリサーチも行うことでさらに活用の幅を広げていく。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

04

景色の良い場所の活用 ～夕陽の丘にカフェ！～

- 薬科大近くの夕日の丘にカフェを設ける。
- 地域の交流を促し、安定した収益も目指す。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

05

インスタグラム & X開設

- 金津コミ協が運営するSNSを開設する。
- 金津の風景や魅力を発信して来訪客を増やす。



《第3回 アクションプランをつくろう！》

06

Youtube動画



→金津の魅力を総合的に発信する「金津チャンネル」を開設。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

07

金津地区タクシーアプリ の構築



→金津地区内でいつでもタクシーを利用できるよう、
専用のアプリを作成する。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

08

金津地区家財リサイクル システムの構築

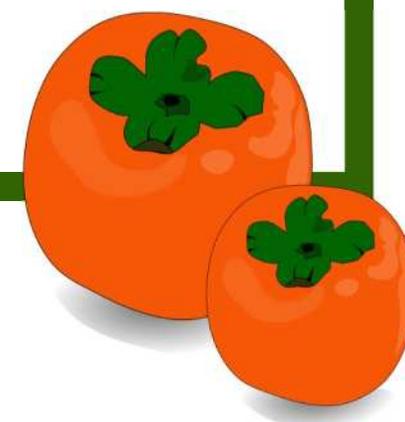


→特に薬科大生に向けて、使わなくなった家具などをリサイクルできるシステムを構築する。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

09

柿もぎツアー



→柿を収穫して加工や販売をすると共に、害獣訓練を通じて害獣の被害を抑制する。

《第3回 アクションプランをつくろう！》

10

子ども消防士・子ども消防団



→子どもたちに現役消防団からレクチャーをして、
未来の消防士を育成する。





山の手コミュニティ協議会

秋葉区自治協議会
未来ビジョン座談会



山の手地区 開催概要

開催日程

- 第1回 7月2日(日)
- 第2回 8月6日(日)
- 第3回 9月3日(日)

- 発表会 1月14日(日)

参加メンバー

(29名 延べ64名)

- 中学生3名
- 小学校保護者5名
- 地域活動実践者等6名
- 自治会長1名
- 福祉施設長3名
- コミ協役職員11名

第1回の成果➡ 話し合いのテーマ決定

コミュニティ
の機能強化

子育て環境
の充実

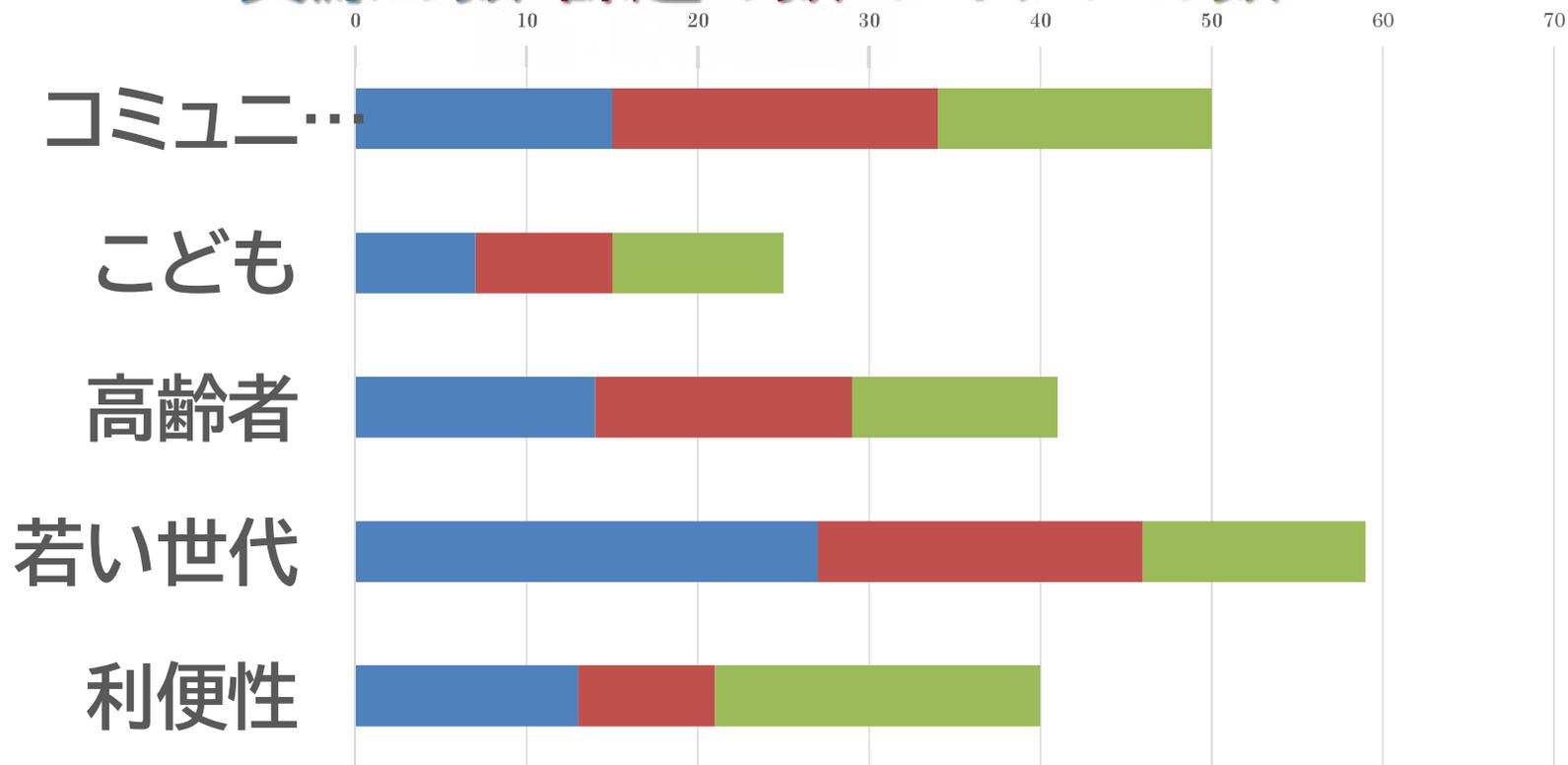
老後を楽し
む

若い世代の
定着と活躍

賑わいづくりと
利便性の向上

第2回の成果➡地域の資源や課題を共有

資源の数・課題の数・アイデアの数



第3回の成果➡6つのアクションプラン立案



アクションプラン① マ (コミュニティ機能強化グループ)

巡回 茶の間～ケット

目的

- ①地域住民の集まる機会を増やす
- ②空き施設の活用(矢代田公会堂など)

内容

交流の拠点を分散させる
茶の間に機能追加(駄菓子屋、移動販売)

対象

高齢者、こども、子育て世代

担い手

ボランティア募集、民生委員、自治会、
役員販売業者、キッチンカー

進め方

場所・マンパワー
確保

試験的に開催

会場を増やす

内容を拡充

アクションプラン② (コミュニティ機能強化グループ)

運動広場をウォーキングコースに！

目的

- ・ 地域住民の健康増進、仲間づくりに貢献

内容

- ・ 小須戸運動広場をトリムコースに
- ・ 「貯筋通帳」を作り、スタンプラリー → 花の湯入浴券

対象

- ・ 全世代どなたでも

担い手

- ・ コミ協(健康スポーツ部)

進め方

コース距離計測

イベント開催
安全対策検証

貯筋通帳の
活用方法検討

ウォーキング
コース整備

アクションプラン③（子育て環境グループ）
フリースペース山の手

目的

- ・ 住民の居場所づくり

内容

- ・ ふれあい会館にフリースペース開設（毎日開放）
- ・ 定期的なイベント開催

対象

- ・ 中高生、子育て世代、高齢者など

担い手

- ・ コミ協ふれあい事業部、有志ボランティア

進め方

企画案・ルール
ボランティア募集

環境整備（自販機）
子どもの居場所

子育てイベント等
の定期開催

ママカフェ・フリマ
誰でも使える場所

アクションプラン④(老後を楽しむグループ)

シニア探検クラブ

目的

- ・シニア世代が若い世代の生活感を体験する

内容

- ・福祉施設の車両を活用
- ・シニア世代が年に数回買い物やイベント等に参加

対象

- ・シニア世代

担い手

- ・コミ協福祉部、有志ボランティア、福祉施設

進め方

事務局設置
ボランティア募集

年1回探検実施

年2回実施

希望に応じた
内容・回数

アクションプラン⑤(若い世代活躍グループ)

子ども防災キャンプ

目的

- ・ 仲間づくりの場(こどもと一緒に楽しみながら)
- ・ 若い世代が主張できる地域へ

内容

- ・ 親子ともに成長できる体験を企画
- ・ (山の手お化け屋敷、ナイトウォーク、防災訓練ゲーム、BBQ)

対象

- ・ 地域住民(小学校4年生以上)

担い手

- ・ コミ協、有志の親

進め方

ナイトウォーク1
ナイトウォーク2

第1弾を少人数
でスタート

参加者を増やす

大々的に実施

アクションプラン⑥(利便性向上グループ)

ワンコイン酒場の活用(交流し合える場所)

目的

- ・身近なところに仲間づくりの場、子供を連れて参加できる場をつくり、住民同士が交流する

内容

- ・空き家や集会場の活用+トラック市場(買い物支援)
- ・会員制送迎サービス等による送迎

対象

- ・地域住民ならどなたでも

担い手

- ・コミ協、自治会、地元の熱き人

進め方

集会所の利用検討
ワンコイン酒場試行

会員制送迎サービス検討

若い世代の運営
参加勧誘

送迎サービス応用検討
移住者受け入れ情報

発表会の成果 ➡ ランキング投票で確認

● 早く実現したい
 時間がかかっても
● 必ず実現したい
● 都合がつく時は協力したい
● 魅力があるなあ……

山の手コミ協未来ビジョン
アクションプランランキング R6.1.14

①	巡回茶の向~カット	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
②	運動広場を ウォキングコースに	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
③	フリースペース山の 手	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
④	シニア探検ワグ	●●	●	●●●●●	●●●●●
⑤	子ども防災キャンプ		●	●●●●●	
⑥	ワンコイン酒場活用 (交流し合える場所)		●●		



コミュニティ未来ビジョン 全体発表会

小須戸コミュニティ協議会

令和6年2月4日



2022年9月21日 **地域活性化委員会** 発足

目的【小須戸地域全体の活性化と地域課題の解決】

- ・メンバー11名を小須戸地域より選出
- ・6回の委員会を開催



2023年3月

「**これからのこすど 6つの提言**」を作成

これからのこすど（理想的な街とは） 6つの提言

1 農業の循環

農業を活かして地域内で循環するまち

2 生活の利便性

生涯を通じて生活する上で困らないように、実用的かつ効率的に整えられたまち

3 発信できるまち

移住者と共に街を作り、街の良さや資源を外に向けて発信できるまち

4 人々の繋がり

街に住む人同士がつながりを感じられ、自治機能が維持され円滑化するまち

5 安心できる子育て

歴史や文化を継承しながら、子どもたちにとって過ごしやすい環境があるまち

6 商業の発展

地域のおいしいもの、交流を楽しむ店があるまち

未来ビジョン座談会

活性化委員会の「6つの提言」をもとに
カテゴリー別に分類してワークショップを開催

第1回 7月17日
第2回 8月11日
第3回 9月16日



参加者28名

- ・自治会長
- ・PTA
- ・企業経営者
- ・個人事業主
- ・農業従事者
- ・福祉従事者
- ・移住者
- ・教育コーディネーター
- ・高校生
- ・文化協会
- ・スポ少指導者
- ・まつり協賛会
- ・コミ協役員

1. 農業の循環

サーキュレーション&コミュニケーション

- ・「うららこすど」「まちづくりセンター」「三・八市」を活用した循環型社会の実現
- ・ B級品を A級品に→フードロス削減



2. 生活の利便性

小須戸っ子キツザマルシェ

- ・ キツザニアのようにチケット（通貨）でやり取りできるマルシェ
- ・ フリーマーケット、職業体験コーナーの設置



3. 発信できるまち

三・八マルシェ

- ・ 「三・八市」を知ってもらう（興味関心を引く、拡散する）
- ・ 中学生の運営で授業として探求する

4. 人々の繋がり ▶ 親子で避難所運営体験

- ・ 防災を地域のイベント、交流の場とする
- ・ 30～40代の子育て層がターゲット（子ども参加型）



5. 安心できる子育て ▶ 子どもも大人もハッピー計画

- ・ ～学童・ひまわりクラブなど長期休みに配色弁当を～

6. 商業の発展 ▶ ぶち観光できる街へ

- ・ 先進地視察（他の地域の街歩きに参加）
→ 小須戸でできる計画作り



今後の進め方

STEP
1

3月以降でビジョンの検討と絞り込み
未来ビジョン特集号を作成、3月15日全戸配布予定

STEP
2

6月以降にワーキングチームもしくはプロジェクトチーム（仮称）
の立ち上げ

STEP
3

6年度内で具体的なビジョンを事業化

STEP
4

7年度以降で実践

ご清聴ありがとうございました

小須戸コミュニティ協議会
佐藤芳常